



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月7日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 浅倉 三男
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理グループ長 (氏名) 安戸 久仁彦 (TEL) (03)3249-2381
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,593	△6.8	371	28.1	298	19.4	150	24.2
25年3月期第2四半期	14,584	△5.6	290	△38.7	249	△63.1	121	ー

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 311百万円(ー%) 25年3月期第2四半期20百万円(△92.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.62	ー
25年3月期第2四半期	4.53	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	25,921	6,490	25.0
25年3月期	26,194	6,313	24.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,490百万円 25年3月期 6,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	ー	0.00	ー	5.00	5.00
26年3月期	ー	0.00			
26年3月期(予想)			ー	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	27,700	△2.0	700	△18.9	500	19.2	230	214.0	8.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー 社 (社名) ー 、 除外 ー 社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	35,000,000株	25年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	8,140,074株	25年3月期	8,140,074株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	26,859,926株	25年3月期2Q	26,860,399株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明〔当期の経営成績〕

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の財政問題や欧州の債務問題等のリスクが懸念されるものの、デフレからの早期脱却と経済成長を目指す政府の経済・財政政策や日銀による金融緩和に起因する円安進行などに伴い、輸出は持ち直し、消費マインドも改善するなど、個人消費・景気ともに緩やかに回復しつつあります。

このような状況の中、当社グループは高品質で安心、安全な製品の安定供給を第一義とし、顧客満足度を一層高め、価格競争力の一層の向上に努めるとともに、改めて平成25年度を初年度とする中期3ヵ年経営計画を策定し、その計画達成に向け全力で取り組んで参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績及びセグメントごとの業績等は以下のとおりとなりました。

当第2四半期累計期間	金額 (百万円)	前年同四半期比
売上高	13,593	6.8%減
営業利益	371	28.1%増
経常利益	298	19.4%増
四半期純利益	150	24.2%増

当第2四半期累計期間 (セグメントごと)	売上高 (百万円)	前年同四半期比	セグメント利益 (百万円)	前年同四半期比
砂糖事業	12,522	6.8%減	816	16.6%増
バイオ事業	682	11.8%減	58	47.9%減
不動産賃貸事業	429	2.8%増	23	55.1%減
調整	△40	—	△526	—
連結損益計算書計上額	13,593	6.8%減	371	28.1%増

(注) セグメント利益の調整額△526百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△517百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

①砂糖事業

・国内精糖

販売数量につきましては、7～8月は記録的な猛暑であったものの、業務用の販売が振るわず、前年同四半期を下回りました。売上高につきましては、販売数量の減少により前年同四半期を下回りました。

・その他糖類

異性化糖などの国内販売については、堅調な荷動きとなりましたが、為替リスク等の軽減を図るため、粗糖の三国間貿易等の海外事業を縮小した結果、売上高は減少いたしました。

期中の海外原糖市況

期初17.69セント〔ニューヨーク市場粗糖先物相場（期近限月の引け値、1ポンド当たり。）以下同じ。〕で始まり、4月中旬には18.03セントの高値をつけました。しかし、主要生産国ブラジルの天候が順調であったことから反落に転じ、さらにブラジル通貨レアルの下落等の材料もあり、7月中旬には16.00セントの安値をつけました。その後、投機筋を中心とした買いが入り17セント台に値を戻し、17.48セントで当期を終了しました。

期中の国内市中価格〔東京市場現物相場（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり。）〕は、期を通じて182円～183円で推移しました。

② バイオ事業

・オリゴ糖

家庭用「オリゴのおかげ」は、引き続き商品価値の啓蒙と、正しい使い方などの理解普及に努めるとともに、量販店を中心に店頭販促に取り組み、一定の成果を上げました。

業務用は、新規採用に向けた営業に努めました。

・サイクロデキストリン (CDと略称)

飲料、健康食品などの食品分野のほか、非食品分野へのCD拡販に努めましたものの、練り製品及び非食品分野における既存ユーザー取り扱いの縮小等により、販売数量の減少を余儀なくされました。

以上から、当第2四半期連結累計期間は、CD部門における販売数量が減少したことにより、バイオ事業全体の売上高は前年同四半期を下回りました。

③ 不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸、ニューESRビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました。

研究開発につきましては、肝機能改善などの機能を有するグルクロン酸の新規工業的生産技術のノウハウにつき、継続して第三者への貸与等に努める一方、バイオプラスチック原料となり得るグルカル酸の工業的製造法を確立後、グルカル酸の利用に関する応用研究に取り組みました。また、抗がん剤「糖修飾パクリタキセル」をリポソームに包み込み、副作用を大幅に軽減し得る「がんミサイル療法」に関しましては、引き続き共同研究開発を進め、4月には米国ワシントン市で開催された米国がん学会で研究成果を発表しました。

また、米粉を原料とした乳化機能を有する食品素材の開発につきましては、低コスト・大量生産技術による製法の実用性評価を行いました。引き続き、商品化に向け鋭意取り組んで参ります。

バイオ製品(オリゴ糖、CDなど)の研究開発につきましては、一層の製造コストの低減と品質の向上に取り組むとともに、新たな機能の開発と探索に努めました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて272百万円減少し、25,921百万円となりました。これは主に売掛金及び繰延税金資産の減少によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて449百万円減少し19,431百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べて176百万円増加し、6,490百万円となりました。これは主に、上場有価証券の時価評価額及び利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績予想における業績動向等を勘案した結果、平成25年5月9日に公表しました通期業績予想を修正をいたしました。詳細につきましては、本日(平成25年11月7日)に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,414	1,169
受取手形及び売掛金	1,879	1,578
商品及び製品	971	1,407
仕掛品	256	191
原材料及び貯蔵品	1,249	1,359
繰延税金資産	65	68
その他	1,127	1,128
流動資産合計	6,964	6,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,582	9,608
減価償却累計額	△5,062	△5,196
建物及び構築物(純額)	4,520	4,412
機械装置及び運搬具	11,166	11,136
減価償却累計額	△9,405	△9,486
機械装置及び運搬具(純額)	1,761	1,649
工具、器具及び備品	398	402
減価償却累計額	△349	△359
工具、器具及び備品(純額)	49	43
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	14	85
有形固定資産合計	11,580	11,425
無形固定資産		
ソフトウェア	62	78
ソフトウェア仮勘定	32	1
その他	7	6
無形固定資産合計	102	86
投資その他の資産		
投資有価証券	5,147	5,185
長期貸付金	1,335	1,375
繰延税金資産	982	856
その他	109	102
貸倒引当金	△27	△13
投資その他の資産合計	7,546	7,505
固定資産合計	19,230	19,017
資産合計	26,194	25,921

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,382	1,083
短期借入金	9,181	10,876
未払法人税等	54	100
未払消費税等	56	108
賞与引当金	79	82
その他	1,027	954
流動負債合計	11,780	13,205
固定負債		
長期借入金	6,411	4,646
退職給付引当金	1,144	1,082
その他	544	496
固定負債合計	8,099	6,225
負債合計	19,880	19,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	266	266
利益剰余金	7,798	7,813
自己株式	△3,117	△3,117
株主資本合計	6,697	6,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△367	△207
繰延ヘッジ損益	△16	△15
その他の包括利益累計額合計	△384	△223
純資産合計	6,313	6,490
負債純資産合計	26,194	25,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	14,584	13,593
売上原価	12,479	11,434
売上総利益	2,104	2,159
販売費及び一般管理費	1,813	1,787
営業利益	290	371
営業外収益		
受取利息	22	20
受取配当金	53	55
デリバティブ利益	20	—
雑収入	16	6
営業外収益合計	114	82
営業外費用		
支払利息	80	68
持分法による投資損失	52	81
支払手数料	21	3
雑損失	0	3
営業外費用合計	154	156
経常利益	249	298
特別利益		
投資有価証券売却益	15	10
特別利益合計	15	10
特別損失		
投資有価証券売却損	3	15
投資有価証券評価損	19	—
その他	4	—
特別損失合計	27	15
税金等調整前四半期純利益	237	293
法人税、住民税及び事業税	82	100
法人税等調整額	34	42
法人税等合計	116	143
少数株主損益調整前四半期純利益	121	150
四半期純利益	121	150

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	121	150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	146
繰延ヘッジ損益	△6	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	13
その他の包括利益合計	△100	161
四半期包括利益	20	311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20	311
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	237	293
減価償却費	362	360
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△49	△61
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△252	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△14
受取利息及び受取配当金	△76	△76
支払利息	80	68
支払手数料	21	3
為替差損益 (△は益)	7	△7
持分法による投資損益 (△は益)	52	81
投資有価証券売却損益 (△は益)	△11	4
投資有価証券評価損益 (△は益)	19	—
投資その他の資産評価損	4	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1	300
たな卸資産の増減額 (△は増加)	83	△482
その他の資産の増減額 (△は増加)	61	30
仕入債務の増減額 (△は減少)	△99	△298
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△41	51
その他の負債の増減額 (△は減少)	241	△126
小計	639	130
利息及び配当金の受取額	76	72
利息の支払額	△77	△84
法人税等の支払額	△421	△57
法人税等の還付額	23	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	240	68
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△222	△169
無形固定資産の取得による支出	—	△12
投資有価証券の売却による収入	84	98
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	24	7
貸付けによる支出	△540	△510
貸付金の回収による収入	427	469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,846	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,721	△1,569
配当金の支払額	△135	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9	△204
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2	△245
現金及び現金同等物の期首残高	1,304	1,414
現金及び現金同等物の期末残高	1,302	1,169

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,422	760	401	14,584	—	14,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	13	16	39	△39	—
計	13,432	773	418	14,623	△39	14,584
セグメント利益	699	112	51	863	△573	290

(注) 1. セグメント利益の調整額△573百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△567百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,512	668	413	13,593	—	13,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	13	16	40	△40	—
計	12,522	682	429	13,634	△40	13,593
セグメント利益	816	58	23	898	△526	371

(注) 1. セグメント利益の調整額△526百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△517百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。